

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	1105	(H.22)No.	1122
-----------	------	-----------	------

事務事業名	道路橋長寿命化修繕計画策定事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	道路河川室	中 森 厚 志	63-7693
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 22 年度 ~ 平成 22 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施 策	2	道路整備
	小 施 策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	394601
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	道路橋長寿命化修繕計画策定事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 橋梁維持費	道路橋長寿命化修繕計画策定事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>橋梁については高齢化が進行し、損傷の発生が懸念される状況が数多くあるため、調査・点検結果に基づき各橋梁の修繕計画を策定することによって、今後の予防的な修繕や架け替えについて国の事業制度を活用する。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>橋長15m以上の54橋の調査・点検結果に基づき、各橋梁毎に修繕計画を策定し、各橋梁の長寿命化ならびに修繕にかかるコスト縮減、及び安全・安心の確保に努めます。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	長寿命化修繕計画策定の事前調査 ・委託料3,001千円	長寿命化修繕計画策定業務委託(54橋) ・委託料3,010千円	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
			修繕計画に基づく長寿命化工事については、社会資本整備総合交付金制度により実施。		
事業費 (千円)	3,001	3,010			
の 財 源 内 訳	国庫支出金	1,500			
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	1,501	1,510			
人工数					
職員(人)	0.3	0.3			
臨時職員等(人)					
人件費 (千円)	2,190	2,190			
総費用 + (千円)	5,191	5,200			

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと 感じている市民の割合	%	-	-	-	-
	実績			47.5	46.0		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
既存施設の老朽化により、施設の安全性・信頼性確保のための計画的で効率の良い維持、修繕が求められる。	日常の橋梁点検や老朽化に伴う安全・安心を確保するため、計画的な対策を望む。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼
備考欄	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
利用者の安全・安心を確保することが困難となる。 今後発生する持修繕事業については国の補助制度により実施する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	4017-2	(H.22)No.	4020
-----------	--------	-----------	------

事務事業名	一般市道整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	道路河川室、維持管理室	中森 厚志、山岡 寛明	63-7693, 63-7861
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	2	市内道路網の整備
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	393501
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	一般市道整備事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路新設改良費	一般市道整備事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
市内全域から要望のある、地域内生活道路の局部改良や道路側溝等の整備を実施し、既存道路を活用しながら計画的に実施します。	

めざす効果(事業目的)	
生活道路の整備を進め、快適な道路環境及び地域間の道路ネットワークの形成を図ります。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)		平成22年度 (計画・6月補正後予算)		現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	市道改良等(8路線) 47,624千円 ・工事 土工・舗装工擁壁工外 ・用地買収 A = 2730㎡ 他 < H22年度への繰越明許費 一般市道整備事業54,000千円 >	市道改良等(6路線) 108,880千円 ・工事 L = 450m ・用地買収 A = 744㎡ その他小規模工事 他	市道改良 100,000千円 ・工事費 ・委託費 ・用地費 ・補償費 ・事務費 側溝整備 他 26,000千円	市道改良 100,000千円 ・工事費 ・委託費 ・用地費 ・補償費 ・事務費 側溝整備 他 26,000千円	市道改良 100,000千円 ・工事費 ・委託費 ・用地費 ・補償費 ・事務費 側溝整備 他 26,000千円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業費 (千円)	(48,893) 119,020	121,480	126,000	126,000	126,000			
の財源内訳	国庫支出金 (29,309) 2,350							
	県支出金							
	地方債 (19,500) 85,700	108,800	123,400	123,400				123,400
	その他()							
	一般財源 (84) 30,970	12,680	2,600	2,600				2,600
人工数	職員(人) 2.2	1.7	2.4	2.4				2.4
	臨時職員等(人)	0.1						
人件費 (千円)	16,060	12,580	17,520	17,520	17,520			17,520
総費用 + (千円)	(48,893) 135,080	134,060	143,520	143,520	143,520			143,520

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.0			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な交通環境を確保するため既存道路の改良を進めます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
今後の人口減少、高齢社会などにより、地域内の生活道路に対する安全性の向上に関心が高まることが予測される。一方で、厳しい財政状況の中で、緊急性や地域性を総合的に考慮した優先順位に基づく計画的な整備が必要となってくる。	厳しい財政状況は理解するが、効果的・効率的な事業促進を望む。市民生活に最も密着した生活道路であるため、高齢者や障害者等、誰もが安心して通行できるよう、多くの要望が寄せられている。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか <input type="text" value="一部実践している(へ)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text" value="地域づくり組織等(へ)"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text" value="事業協力(へ)"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="継続実施"/>
備考欄	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)"/>	効率的な資材、工法の採用
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である"/>	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="困難である"/>	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) <input type="text" value="継続(現行どおり)(理由 (2)へ)"/>	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
交通の利便性及び通行の安全性の確保が困難となる。老朽化が進んできているが、優先順位に基づく適切な計画の検討を行う必要がある。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	4014	(H.22)No.	4022
-----------	------	-----------	------

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	道路河川室、維持管理室	中森 厚志、山岡 寛明	63-7693、63-7861
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	2	市内道路網の整備
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	392001
一般会計	(中事業名)	
款	土木費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)
項	道路橋梁費	(小事業名)
目	道路新設改良費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>国の社会資本整備総合交付金(旧地域活力基盤創造交付金)を活用し、既存道路の利便性・安全性向上を図るため、計画的に道路整備を実施します。 21年度は地域活力基盤創造交付金事業であったが、22年度から社会資本整備総合交付金事業に名称変更</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>観光ルートや生活道路として重要な役割を担う各路線を整備することにより、交通便利性の向上を図り、円滑で安全な通行を確保します。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)		平成22年度 (計画・6月補正後予算)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]				
主な事業の実績・計画	・市道改築(6路線) 94,038千円 ・市道維持補修(2路線)		・市道改築(4路線) 48,020千円 ・市道維持補修(1路線) 2,000千円 ・市道法面整備(1路線) 7,000千円		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
	< H22年度への繰越明許費 地域活力基盤創造交付金事業 49,222千円 >				平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
	・市道改築(7路線) 184,500千円 ・市道維持補修(1路線)、市道法面整備(1路線) 14,000千円		・市道改築(7路線) 192,300千円 ・市道維持補修(1路線)、市道法面整備(1路線) 30,000千円		・市道改良(5路線) 227,000千円 ・市道法面整備、路側整備等 30,000千円		
	事業費(千円)	(42,412) 97,967	48,020	198,500	222,300	257,000	
の 財 源 内 訳	国庫支出金	(23,980) 51,040	25,850	108,350	121,550	140,250	
	県支出金						
	地方債	44,800	21,100	83,800	87,200	103,200	
	その他()						
一般財源	(18,432) 2,127	1,070	6,350	13,550	13,550		
人工数	職員(人)	2.0	1.8	2.8	2.8	2.5	
	臨時職員等(人)		0.1				
人件費(千円)	14,673	13,310	20,075	20,440	18,250		
総費用 + (千円)	(42,412) 112,640	61,330	218,575	242,740	275,250		

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと 感じている市民の割合	%	-	-	-	-
	実績			47.5	46.0		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
当該整備事業周辺の国、県事業の促進により、市道整備の関心が高まることが予測される。	厳しい財政状況は理解するが、効果的・効率的な事業促進を望む。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか <input type="text" value="一部実践している(へ)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text" value="地域づくり組織等(へ)"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text" value="事業協力(へ)"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="継続実施"/>

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)"/>	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である"/>	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="困難である"/>	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) <input type="text" value="継続(現行どおり)(理由 (2)へ)"/>	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など 	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 観光ルートや地域間を結ぶネットワーク道路の整備については、活力ある地域・より良い生活環境の確保等の重要課題であるため、引き続き、国の事業の動向を注視し、国費を有効に活用できるよう整備計画を検討する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	4016	(H.22)No.	4023
-----------	------	-----------	------

事務事業名	新田南古山線整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	道路河川室	中 森 厚 志	63-7693
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 9 年度 ~ 平成 22 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施 策	2	道路整備
	小 施 策	2	市内道路網の整備
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	392501
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	新田南古山線整備事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路新設改良費	新田南古山線整備事業	

3. 事務事業の概要

事業概要
新田地区と南古山地区間の延長2,480mについて 安全で円滑な交通の確保を図るため改良事業を実施する。

めざす効果(事業目的)
本路線は、新田地区及び南古山地区住民の生活道路であり、美旗地区と国道368号を結ぶ主要幹線であります。 小中学校の通学路としても指定されているため、早期に安全で円滑な交通の確保に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の 実績・計画		市道改良 26,010千円 ・道路改良工事 L=70m ・用地買収 A=220m ²	補助金・交付金		
			その他 ()		
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
	事業費 (千円)		26,010		
	の 財 源 内 訳				
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	26,000			
	その他()				
	一般財源	10			
人 工 数	職員(人)	0.90			
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)		6,570			
総費用 + (千円)		32,580			

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.0			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
当該整備事業周辺の国、県事業の促進により、市道整備の関心が高まることが予測される。	厳しい財政状況は理解するが、効果的・効率的な事業促進を望む。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		
協働等は実践していますか <input type="text" value="一部実践している(へ)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text" value="地域づくり組織等(へ)"/>	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text" value="事業協力(へ)"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="継続実施"/>	
		備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当である。"/>		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)"/>		補助事業制度の活用 (起債事業 交付金事業)
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)"/>		近隣自治体との協調

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) <input type="text" value="継続(事務改善)(今後の展開方法 (1)・(2)へ)"/>	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 歩行者の歩行空間及び車両走行の安全を確保することが困難となる。 今後、事業手法を国の補助制度に転換を図る。	